

無線通信研究委員会

SG 6 会合

(ジュネーブ、オンライン参加可)

報告書

2024年3月15日

目次

1. 概要	1
1.1 主要結論	1
2. 会合内容	3
2.1 開会挨拶	3
2.2 アジェンダの承認	3
2.3 Organizational matters	3
2.4 SG6 副議長の任命	3
2.5 SG6 の構造とWP 議長・副議長の任命	4
2.6 前回 SG6 会合サマリーレコード	4
2.7 Status of texts	4
2.8 Results of RA-23, WRC-23, and CPM27-1	4
2.9 Report of the events during March 2023 meetings	5
2.10 Consideration of contributions from the WPs and RG	5
2.10.1 WP 6A	5
2.10.1.1 WP 6A 会合報告	5
2.10.1.2 レポート改訂案	5
2.10.2 WP 6B	6
2.10.2.1 WP 6B 会合報告	7
2.10.2.2 新勧告案	7
2.10.2.3 勧告改訂案	7
2.10.2.4 新レポート案	7
2.10.2.5 レポート改訂案	8
2.10.3 WP 6C	8
2.10.3.1 WP 6C 会合報告	8
2.10.3.2 新勧告案	9
2.10.3.3 勧告改訂案	9
2.10.3.4 勧告エディトリアル修正案	9
2.10.3.5 新レポート案	10
2.10.3.6 レポート改訂案	10

2.10.4 FOB(放送の将来: Future of Broadcasting)	10
2.11 SG6 運営委員会	11
2.12 その他の文書	11
2.12.1 放送の将来	11
2.12.2 セクター間ラポータグループ	11
2.12.3 ITU-T からのリエゾン文書	12
2.12.3.1 ITU-T Study Group 5	12
2.12.3.2 ITU-T Study Group 9	12
2.12.3.3 ITU-T Study Group 15	12
2.12.3.4 メタバースに関する ITU-R フォーカスグループ	13
2.12.3.5 機械学習に関する ITU-T 共同調整活動	13
2.12.4 ITU-D SG1 Q2/1 からのリエゾン文書	14
2.12.5 ITU-R からのリエゾン文書	14
2.12.6 RAG への入力案	15
2.13 CCV/SCV related matters	15
2.14 次回会合のスケジュール	15
2.15 閉会の言葉	15
表 1 日本代表团(16名)	16
表 2 入力文書(47件)	18

1. 概要

国際電気通信連合無線通信部門 (ITU-R) の第 6 研究委員会 (SG6: 放送業務) 会合が、下記の通り開催された。

- 開催日: 2024 年 3 月 15 日 (金)
- 開催地: ITU 本部 (スイス・ジュネーブ、オンライン参加可)
- 議長: T. SOARES (ブラジル)
- 副議長: A.M. AMBANI (ケニア)、N.K. BHOLA (インド)、P. DJAKWAH (ガーナ)、D.DUSMATOV (ウズベキスタン)、A. ELKARADAWY (エジプト)、R.BUNCH (オーストラリア)、D.HEMINGWAY (英国)、P. LAZZARINI (バチカン)、大出 訓史 (日本)、E. PUIGREFAGUT (EBU)、A. AZARI (イラン)、L. LI (中国)、C. LEE (韓国)
- (欠席: A.M. AHMED ABDALLA (スーダン))
- 参加者: 63 か国、18 の認められた企業や地域機関から 183 名 (登録者)
- 日本から 16 名 (表 1 参照)
- 入力文書: 47 (表 2 参照)

1.1 主要結論

文書種別	件数				審議結果
		WP6A	WP6B	WP6C	
新勧告案	2	-	1	1	次回に持ち越し
勧告改訂案	4	-	2	2	次回に持ち越し
勧告エディトリアル修正案	1	-	-	1	承認
新レポート案	3	-	2	1	承認
レポート改訂案	7	4	1	2	承認
ラポータグループ継続提案	1		1		承認

(1) 新勧告案 (2 件)

- 勧告 ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION] 「先進的音響システム：放送送出のための ADM と S-ADM のプロファイル」 (6/35, WP6B)
- 勧告 ITU-R BT.[CARE] 「テレビジョンディスプレイのエネルギー消費削減のためのコンテンツ適応方法の枠組み」 (6/19, WP6C)

(2) 勧告改訂案 (4 件)

- 勧告 ITU-R BS.2076-2 「音響定義モデル」(6/36, WP6B)
- 勧告 ITU-R BS.2094-1 「音響定義モデルの共通定義」(6/37, WP6B)
- 勧告 ITU-R BT.1666「劇場環境における提示を意図した LSDI アプリケーションのユーザ要求条件」(6/23, WP6C)
- 勧告 ITU-R BT.1662「LSDI アプリケーションにおける一般的なりファレンスチェーンと番組エッセンスのポスト処理ヘッドルームの管理」(6/24, WP6C)

(3) 勧告エディトリアル修正案 (1 件)

- 勧告 ITU-R BT.500-15「テレビジョン映像の主観品質評価方法」(6/25, WP6C)

(4) 新レポート案 (3 件)

- レポート ITU-R BT.[CLOUD]「番組制作のためのクラウドコンピューティングの使用」(6/32, WP6B)
- レポート ITU-R BT.[MLP]「放送サービスにおける VVC マルチレイヤプロファイルのユースケース」(6/33, WP6B)
- レポート ITU-R BT.[ERTIP]「画像信号処理によるディスプレイのエネルギー削減」(6/20, WP6C)

(5) レポート改訂案 (7 件)

- レポート ITU-R BT.2386-4 「デジタル地上放送：単一周波数ネットワーク (SFN) の設計と実装」(6/27, WP6A)
- レポート ITU-R BT.2389-0 「デジタル地上テレビ放送システムの測定ガイドライン」(6/28, WP6A)
- レポート ITU-R BT.2467-2 「第 2 世代 DTTB システムのサービス品質の評価方法」(6/29, WP6A)
- レポート ITU-R BT.2343-8 「DTTB ネットワークによる UHDTV 野外実験のコレクション」(6/30, WP6A)
- レポート ITU-R BS.2388-4 「音響定義モデルとマルチチャンネル音声ファイルの利用ガイドライン」(6/34, WP6B)
- レポート ITU-R BT.2420-5 「先進的没入・体感メディアシステムのユースケース集」(6/21, WP6C)

- レポート ITU-R BT.2506-0「イマーシブ映像用の理想的なヘッドマウントディスプレイの空間的特性についての要求条件」(6/22, WP6C)

2. 会合内容

2.1 開会挨拶

新たにSG6の議長に任命されたThiago Soares氏(ブラジル)が開会を宣言した後、ITU-R BR局長のMario Maniewicz氏から開会挨拶がなされた。BR局長はSoares氏のSG6議長就任を祝福し、全ての参加者と、特に各WP議長代行のNafez氏(イラン)、Gardiner氏(英国)、Quested氏(EBU)に対し、2週間の順調な進展に感謝の意を表した。また、ITU-Rは放送の国際標準化を先導しており、世界中に情報を伝える放送技術の多くはSG6とその前身が築いた基盤によるものであり、国際的な番組交換を促進し、映像・音声コンテンツの品質を保証する上で、ITU-R勧告やレポートの重要性を指摘した。さらに、SG6が3度目のエミー賞受賞という大きな成果を挙げたことに言及し、その世界的な認知度とITUの誇りを強調した。また、RA-23及びWRC-23の成功への貢献に感謝が示され、BRからの継続的な支援を確約し、建設的で協力的な精神を持ち続けることがこの研究期間の目的を達成する鍵であると述べた。

Soares氏は議長選出に感謝の意を表明し、前議長である西田幸博氏の卓越した功績を称えた。また、WRC-23における議題1.5の成果を強調し、プロセス中に直面した困難にもかかわらず、放送業務への周波数分配を確保した参加者の努力を称えた。

2.2 アジェンダの承認

- 6/ADM/4: Draft agenda for the meeting of Radiocommunication Study Group 6

承認

2.3 Organizational matters

- 6/INFO/1: Information for participants - Meeting of Working Parties 6A, 6B, 6C and Study Group 6 (Geneva, 4-15 March 2024)

Noted

2.4 SG6 副議長の任命

- 6/9(Rev.1): List of proposed Vice-Chairs of the Radiocommunication Study Groups and the Coordination Committee for Vocabulary
(無線通信研究委員会(SG)及び用語調整委員会(CCV)の副議長候補者リスト)

SG6 の副議長候補者リストから、まず 11 名（スーダン、ケニア、インド、ガーナ、ウズベキスタン、エジプト、バチカン、EBU、イラン、中国、韓国）が任命された。4 名の候補者（オーストラリア、英国、ロシア、日本）について異議が出された。このような状況の中、ITU の会議一般規則第 2 章に記載されている措置が適用され、オーストラリア、英国及び日本の候補者が任命された。

2.5 SG6 の構造と WP 議長・副議長の任命

- 6/15(Rev.3): Proposed organization of the work of the Study Group 6
(SG6 の作業体制の提案)

SG6 に WP6A、WP6B、WP6C の 3 つの WP を設置することが承認された。

WP 議長の任命については合意が得られなかったため、WP6A の Nafez 氏（イラン）、WP6B の Gardiner 氏（英国）、WP6C の Quedstedt 氏（EBU）を議長代行とし、11 月の次回の SG6 会合で再審議することとなった。

WP の副議長の任命については、各 WP に委ねることが合意された。

2.6 前回 SG6 会合サマリーレコード

- 6/403: summary record of the eighth meeting of Radiocommunication Study Group 6
(第 8 回 SG6 会合のサマリーレコード)

SG6 議長から、2023 年 9 月に開催された SG6 会合の結果が紹介された。

Noted

2.7 Status of texts

- 6/1: Assignment of texts to the Study Group 6 Sub-Groups
(SG6 のサブグループへの文書割り当て)

SG6 議長から、本文書は毎会合後に更新されることが説明された。

Noted

2.8 Results of RA-23, WRC-23, and CPM27-1

- Res. ITU-R 1-9: Working methods for the Radiocommunication Assembly, the Radiocommunication Study Groups, the Radiocommunication Advisory Group and other groups of the Radiocommunication Sector
- Res. ITU-R 2-9: Conference Preparatory Meeting

カウンセラーから RA-23 の結果が概説された。ジェンダーと宇宙の持続可能性に関する 2 つの ITU-R 決議が承認されたことが強調された。また、SG や WP の活動に関連する決議 ITU-R 1-9 では、WP 議長の任期が最長 2 期(例外的に 3 期)になったこと、各 SG 副議長が担務を持つこと、寄与文書提出期限が 7 日前から 12 日前に変更されたことなどが紹介された。CPM に関する決議 ITU-R 2-9 については、CPM レポートに記載すべきこと、記載すべきでないことが明確化されたことが説明された。

- World Radiocommunication Conference 2023 (WRC-23) Provisional Final Acts

WRC-23 議題 1.4 及び 1.5 の主要な結果が言及された。

- CA/270: Results of the first session of the Conference Preparatory Meeting for WRC-27 (CPM27-1)

WP6A と WP6B が WRC-27 の様々な議題に対する寄与グループに、WP6A が WRC-31 の暫定議題 2.14 の責任グループになっていることが紹介された。

2.9 Report of the events during March 2023 meetings

Workshop on Terrestrial Multimedia Mobile Broadcasting (TMMB)

SG6 議長から、2023 年 3 月 23 日に開催された地上マルチメディア・モバイル放送に関するワークショップの web ページが紹介された。WP6A 議長代行 Nafez 氏から、本ワークショップを企画した EBU に謝意が示された。

2.10 Consideration of contributions from the WPs and RG

2.10.1 WP 6A

2.10.1.1 WP 6A 会合報告

WP6A 議長代行 Nafez 氏及び SG6 副議長 Puigrefagut 氏 (EBU) から、WP6A が提出した文書が説明された。

- 6/31: Executive Report of the meeting of Working Party 6A (5-13 March 2024)

(WP6A 会合報告(2024 年 3 月 5-13 日))

Noted

2.10.1.2 レポート改訂案

- 6/27: Draft revision of Report ITU-R BT.2386-4 Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)

(レポート ITU-R BT.2386-4 改訂案「デジタル地上放送:単一周波数ネットワーク(SFN)の設計と実装」)

ATSC3.0規格の送信所識別信号伝送機能の概要と、これを用いた韓国ソウル市内における SFN ネットワークのチャンネルモデルを追加するレポート改訂案。

承認

- 6/28: Draft revision of Report ITU-R BT. 2389-0 Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems

(レポートITU-R BT.2389-0改訂案「デジタル地上テレビ放送システムの測定ガイドライン」)

多値変調における変調誤差比(MER)測定の課題と、これを考慮した MER 計算方法を追記したレポート改訂案。(日本提案)

承認

- 6/29: Draft revision of Report ITU-R BT.2467-2 Methods for the evaluation of the quality of service of second generation DTTB systems

(レポートITU-R BT.2467-2改訂案「第2世代DTTBシステムのサービス品質の評価方法」)

SFNネットワークにおいて受信破綻するまでのマージン量をMERとLDPC復号前のBER から推定する方法及びサービス品質の評価尺度の情報を追加するレポート改訂案。

承認

- 6/30: Draft revision of Report ITU-R BT.2343-8 Collection of field trials of UHD TV over DTTB networks

(レポートITU-R BT.2343-8改訂案「DTTBネットワークによるUHD TV野外実験のコレクション」)

中国が実施した8K映像をDTMB-Aと5Gネットワークで同時配信する伝送システムの野外実験及び韓国が実施したATSC3.0でLDMとMIMOを組み合わせた野外実験に関する情報を追記したレポート改訂案。

承認

2.10.2 WP 6B

WP6B 議長代行の Gardiner 氏から、WP6B が提出した文書が説明された。

2.10.2.1 WP 6B 会合報告

- 6/39: Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Physical meeting with remote participation, 11-14 March 2024)
(WP 6B 会合報告(2024年3月11-14日))

Noted

2.10.2.2 新勧告案

- 6/35: Draft new Recommendation ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION] Advanced sound system: ADM and S-ADM profile for emission
(新勧告案 ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION]「先進的音響システム: 放送送出のための ADM と S-ADM のプロファイル」)

ロシアは、不適切な手続きで設置されたグループが作成した勧告を承認することはできないと主張し、新勧告草案としてWP6Bへ差し戻すことを提案した。議論の末、次回 SG6 会合に持ち越すことになった。なお、技術的な事項について担当の WP に寄与することは可能である。(以下の 2.10.2.3、2.10.3.2、2.10.3.3 の新勧告案、勧告改訂案も同様)

次回 SG6 会合に持ち越し

2.10.2.3 勧告改訂案

- 6/36: Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2076-2 Audio Definition Model
(勧告ITU-R BS.2076-2改訂案「音響定義モデル」)
- 6/37: Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2094-1 Common definitions for the Audio Definition Model
(勧告ITU-R BS.2094-1改訂案「音響定義モデルの共通定義」)

次回SG6会合に持ち越し

2.10.2.4 新レポート案

- 6/32: Draft new Report ITU-R BT.[CLOUD] Use of cloud computing for programme production
(新レポート案 ITU-R BT.[CLOUD]「番組制作のためのクラウドコンピューティングの使用」)

番組制作にクラウドコンピューティングを使用する際のメリット、セキュリティ等の考慮事項、システム構成例、ユースケースをまとめた新レポート案。(日本提案)

承認

- 6/33: Draft new Report ITU-R BT.[MLP] Use cases of VVC multilayer profiles for broadcasting services

(新レポート案 ITU-R BT.[MLP]「放送サービスにおける VVC マルチレイヤプロファイルのユースケース」)

放送サービスにおける VVC マルチレイヤプロファイルのユースケースを示す新レポート案。(日本提案)

承認

2.10.2.5 レポート改訂案

- 6/34: Draft revision of Report ITU-R BS.2388-4 Usage guidelines for the Audio Definition Model and multichannel audio files

(レポートITU-R BS.2388-4改訂案「音響定義モデルとマルチチャンネル音声ファイルの利用ガイドライン」)

ADM の使用法に関するガイドラインに、直交座標の音声チャンネルに用いるスピーカーラベルの命名法を追記するレポート改訂案。

承認

2.10.3 WP 6C

WP6C 議長代行の Quested 氏から、WP6C が提出した文書が説明された。

2.10.3.1 WP 6C 会合報告

- 6/26: Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Physical meeting with remote participation, 4-8 March 2024)

(WP6C 会合報告(2024 年 3 月 4- 8 日))

Noted

2.10.3.2 新勧告案

- 6/19: Draft new Recommendation ITU-R BT.[CARE] A framework for content-adaptive methods for reduction of energy consumption in television displays
(新勧告案ITU-R BT.[CARE]「テレビジョンディスプレイのエネルギー消費削減のためのコンテンツ適応方法の枠組み」)

見かけ上の画質を損なうことなく画素値を適応的に制御することによってディスプレイの消費電力を削減する方法の枠組みを示す新勧告案。

次回 SG6 会合に持ち越し

2.10.3.3 勧告改訂案

- 6/23: Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1666 User requirements for large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment

(勧告ITU-R BT.1666改訂案「劇場環境における提示を意図したLSDIアプリケーションのユーザ要求条件」)

勧告の対象をLSDIIに限定せずテレビジョン全体に修正する改訂案。

次回 SG6 会合に持ち越し

- 6/24: Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1662 General reference chain and management of post-processing headroom for programme essence in large screen digital imagery applications

(勧告ITU-R BT.1662改訂案「LSDIアプリケーションにおける一般的なりファレンスチェーンと番組エッセンスのポスト処理ヘッドルームの管理」)

勧告の対象をLSDIIに限定せずテレビジョン全体に修正する改訂案。

次回 SG6 会合に持ち越し

2.10.3.4 勧告エディトリアル修正案

- 6/25: Draft editorial amendment to Recommendation ITU-R BT.500-15 Methodologies for the subjective assessment of the quality of television images

(勧告ITU-R BT.500-15エディトリアル修正案「テレビジョン映像の主観品質評価方法」)

誤記訂正及び参照先のITU-T勧告を変更するエディトリアル修正案。

承認

2.10.3.5 新レポート案

- 6/20: Draft new Report ITU-R BT.[ERTIP] Display energy reduction through image signal processing

(新レポート案ITU-R BT.[ERTIP]「画像信号処理によるディスプレイのエネルギー削減」)

見かけ上の画質を損なうことなく画素値を適応的に制御することによってディスプレイの消費電力を削減する2つの方法とそれらの画質への影響や消費電力削減効果を説明した新レポート案。

承認

2.10.3.6 レポート改訂案

- 6/21: Draft revision of Report ITU-R BT.2420-5 Collection of usage scenarios of advanced immersive sensory media systems

(レポートITU-R BT.2420-5改訂案「先進的没入・体感メディアシステムのユースケース集」)

ポリュメトリック映像のフォーマットの事例として、ベースレイヤとエンハンスメントレイヤからなるメタスタジオの出力フォーマットを追記するレポート改訂案。

承認

- 6/22: Draft revision of Report ITU-R BT.2506-0 Requirements for spatial characteristics of an ideal head-mounted display for immersive video

(レポートITU-R BT.2506-0改訂案「イマーシブ映像用の理想的なヘッドマウントディスプレイの空間的特性についての要求条件」)

日常的な眼球運動での視野の広さ及び極周辺視野の空間周波数特性を追記するレポート改訂案。承認

2.10.4 FOB(放送の将来:Future of Broadcasting)

放送の将来に関するラポータグループ(RG-FOB)の共同議長 Fausto 氏(ブラジル)から、ラポータグループの活動及び WP 合同会合の結果が報告された。

- 6/12: RG-FOB progress report – October 2023-February 2024
(RG-FOB の進捗報告 – 2023 年 10 月から 2024 年 2 月)
Noted
- 6/18: Report from joint Working Parties meetings on the future of broadcasting held during the March 2024 block meetings
(2024年3月のブロック会合期間中に開催された「放送の将来に関する合同WP会合」のレポート)
Noted
- 6/18 Attachment 2: Continuation of the Rapporteur Group RG-FOB to develop further text on “A vision for the future of broadcasting”
(将来の放送のビジョンに関する文書を作成するためのラポータグループRG-FOBの継続)

承認**2.11 SG6 運営委員会**

SG6 議長から、決議 ITU-R 1-9 に定められているとおり、SG 6 運営委員会が各 SG 6 副議長の具体的な任務を概説する文書を作成中であることが報告された。同文書は協議終了後に公開される予定。

2.12 その他の文書**2.12.1 放送の将来**

- 6/11: Brazilian next-generation digital terrestrial television (Information document)
(ブラジルの次世代デジタル地上テレビ (情報文書))

Noted**2.12.2 セクター間ラポータグループ**

- 6/10: Response liaison statement on providing comment and suggestions on the progress made on the draft new ITU-T Technical Report JSTR.LCAP -Technical advances, challenges, and best practices in live captioning
(ITU-T 技術レポート JSTR.LCAP 「ライブキャプションの技術的進歩、課題、ベストプラクティス」案の進捗に関するコメントと提案についてのリエゾン文書)

- **Noted**6/13: Intersector Rapporteur Group audiovisual quality assessment meeting report (online)

(IRG-AVQA 会合報告)

Noted

2.12.3 ITU-T からのリエゾン文書

2.12.3.1 ITU-T Study Group 5

- 6/8: Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation

(持続可能なデジタルトランスフォーメーションに関する活動・研究に関するリエゾン文書)

Noted

2.12.3.2 ITU-T Study Group 9

- 6/5: Liaison statement on information about the progress of draft Recommendation ITU-T J.CABLE-5G-ARCH “System architecture for cable television services to use IMT-2020 radio system”

(新勧告案 ITU-T J.CABLE-5G-ARCH「IMT-2020 無線システムを利用するケーブルテレビサービスのためのシステムアーキテクチャ」の進捗状況に関するリエゾン文書)

- **Noted**6/6: Liaison statement on the ITU workshop on "the future of television for the Americas" Bogotá, 17 November 2023

(ITUワークショップ「アメリカにおけるテレビの未来」(ボゴタ、2023年11月17日)に関するリエゾン文書)

Noted

2.12.3.3 ITU-T Study Group 15

- 6/7: Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan

(ホームネットワークトランスポート(HNT)の標準化概要と作業計画の新バージョンに関するリエゾン文書)

Noted

2.12.3.4 メタバースに関する ITU-R フォーカスグループ

- 6/404: Liaison statement on request to provide the standardization status for metaverse cross-platform interoperability
(メタバースクロスプラットフォームの相互運用性に関する標準化概要の提供要請に関するリエゾン文書)
- **Noted**6/405: Liaison statement on definition of metaverse
(メタバースの定義に関するリエゾン文書)
- **Noted**6/406: Liaison statement on results of the third meeting of the FG-MV
(第3回FG-MV会合の結果に関するリエゾン文書)
- **Noted**6/408: Liaison statement on request to provide the standardization status for metaverse-related technologies
(メタバース関連技術の標準化状況提供要請に関するリエゾン文書)
- **Noted**6/3: Liaison statement on the approval of the technical specification ITU FGMV-19 -Service scenarios and high level requirements for metaverse cross-platform interoperability
(技術仕様ITU FGMV-19「メタバースのプラットフォーム間相互運用性のためのサービスシナリオとハイレベル要件」の承認に関するリエゾン文書)
- **Noted**6/4: Liaison statement on results of the fourth meeting of the FG-MV
(第4回FG-MV会合結果に関するリエゾン文書)

Noted

2.12.3.5 機械学習に関する ITU-T 共同調整活動

- 6/409: Liaison statement on invitation to provide inputs to the “machine learning standardization roadmap”
(「機械学習標準化ロードマップ」への入力依頼に関するリエゾン文書)
- **Noted**6/410: Liaison statement on invitation to provide inputs to the “glossary of terms and definitions for machine learning”
(「機械学習の用語と定義集」への入力に関するリエゾン文書)

Noted

- 6/16: Liaison statement on invitation to provide inputs to the machine learning standardization roadmap

(「機械学習標準化ロードマップ」への入力依頼に関するリエゾン文書)

Noted

- 6/17: Liaison statement on invitation to provide inputs to the “glossary of terms and definitions for machine learning”

(「機械学習の用語と定義集」への入力に関するリエゾン文書)

Noted

2.12.4 ITU-D SG1 Q2/1 からのリエゾン文書

- 6/14: Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-R Study Group 6 and ITU-R Working Parties 6A, 6B and 6C - Strategies, policies, regulations and methods of migration to and adoption of digital technologies for broadcasting, including to provide new services for various environments

(ITU-D SG1 研究課題 2/1「サービスの提供など放送におけるデジタル技術への移行・採用に関する戦略・政策・規制・方法」から ITU-R SG6 及び WP6A、WP6B、WP6C へのリエゾン文書)

Noted

2.12.5 ITU-R からのリエゾン文書

- 6/407: Reply liaison statement to CCT (copy for information to Study Group 6 and Working Parties 1B, 3J, 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B and 7C)

(CCT へのリエゾン文書(SG6 及び WP1B, 3J, 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C へコピー))

Noted

2.12.1～2.12.5 は WP で検討済みであるため、SG6 議長は noted とすることを提案した。ロシアは、noted とすることについて問題はないが、リエゾン文書は慎重に取り扱うべきであり、次回会合に持ち越すことを提案した。SG6 議長は、サマリーレポートに WP で検討済みである旨の説明を記載することを提案し、合意された。

2.12.6 RAG への入力案

- 6/38: Proposed contribution to the Radiocommunication Advisory Group (RAG) meeting March 2024 - Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation

(2024 年 3 月 RAG 会合への提案- 持続可能なデジタルトランスフォーメーションに関する活動と研究についてのリエゾン文書)

SG6 議長から RAG へのノートに修正された。

承認

2.13 CCV/SCV related matters

SG6 議長から、決議 36-6 に基づく用語調整のラポータを引き続き務めることを Sergio Salvatori 氏が快諾したことが紹介された。

2.14 次回会合のスケジュール

次回のSG6関連会合はジュネーブにて以下の通り開催予定。(6/ADM/3)

会合	開始日	終了日	会合日数
WP 6A	2024年11月5日 (火)	11月13日(水)	7
WP 6B	2024年11月11日(月)	11月14日(木)	3½
WP 6C	2024年11月4日 (月)	11月 8日(金)	5
SG 6	2024年11月15日(金)	11月15日(金)	1

2.15 閉会の言葉

SG6 議長から全ての参加者に対し謝辞が述べられた。

表 1 日本代表団(16名)

氏名	所属
谷田 葉	総務省 情報流通行政局 放送技術課 課長補佐
伊藤 有希	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係長
服部 恵二	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 フェロー
大出 訓史	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 チーフ・リード
齋藤 進	日本放送協会 技術局 管理部 副部長
末長 康孝	日本放送協会 技術局 管理部
當山 俊一郎	(一社)日本民間放送連盟 日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 回線運用部 主任
大森 克信	(一社)日本民間放送連盟 株式会社フジテレビジョン 技術局 マルチサポート部長 兼技術戦略部 兼コンプライアンス推進室 内部統制推進部
中野 啓	(一社)日本民間放送連盟 株式会社TBSテレビ メディアテクノロジー局 技術管理部
近藤 佑輔	(一社)日本民間放送連盟 株式会社テレビ朝日 技術局 設備センター コンテンツ制作システムグループ
松嶋 宣広	(株)オーエムシー
瀧田 遥奈	(株)オーエムシー
佐伯 祥子	(株)オーエムシー
末岡 洋子	(株)オーエムシー

James Harper	(株)オーエムシー
--------------	-----------

表 2 入力文書(47 件)

入力文書 (6/)	提出元	題 名	結果
404	ITU-T FG-MV	Liaison statement on request to provide the standardization status for metaverse cross-platform interoperability	Noted
405	ITU-T FG-MV	Liaison statement on definition of metaverse	Noted
406	ITU-T FG-MV	Liaison statement on results of the third meeting of the FG-MV	Noted
407	WP 7D	Reply liaison statement to CCT (copy for information to Study Group 6 and Working Parties 1B, 3J, 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B,5C, 5D, 6A, 7B and 7C)	Noted
408	ITU-T FG-MV	Liaison statement on request to provide the standardization status for metaverse-related technologies	Noted
409	Chair, JCA-ML	Liaison statement on invitation to provide inputs to the "Machine Learning standardization roadmap"	Noted
410	Chair, JCA-ML	Liaison statement on invitation to provide inputs to the "Glossary of terms and definitions for Machine Learning"	Noted
1	Chair, SG6	Assignment of texts to the Study Group 6 Sub-Groups	Noted
2	SG6	Documents to be carried over from the 2019-2023 study period	Noted
3	ITU-T FG-MV	Liaison statement on the approval of the Technical Specification ITUFGMV-19 on "Service scenarios and high-level requirements for metaverse cross-platform Interoperability"	Noted
4	ITU-T FG-MV	Liaison statement on results of the fourth meeting of the FG-MV	Noted
5	ITU-T SG9	Liaison statement on information about the progress of draft Recommendation ITU-T J.CABLE-5G-ARCH	Noted

入力文書 (6/)	提出元	題 名	結果
		– System Architecture for cable television services to use IMT-2020 radio system	
6	ITU-T SG9	Liaison statement on the ITU Workshop on the future of television for the Americas - Bogota, 17 November 2023	Noted
7	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan	Noted
8	ITU-T SG 5	Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation	Noted
9 Rev.1	Director, BR	List of proposed Vice-Chairs of the Radiocommunication Study Groups and the CCV	Approved
10	IRG-AVA	Response liaison statement on providing comment and suggestions on the progress made on the draft new ITU-T Technical Report JSTR.LCAP - Technical advances, challenges, and best practices in live captioning	Noted
11	Brazil (Federative Republic of)	Brazilian next-generation Digital Terrestrial Television (Information document)	Noted
12	RG-FOB	RG-FOB Progress Report - October 2023 - February 2024	Noted
13	Co-Chairs, IRG-AVQA	Intersector Rapporteur Group Audiovisual Quality Assessment meeting Report (online)	Noted
14	ITU-D SG1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-R Study Group 6 and ITU-R Working Parties 6A, 6B and 6C -Strategies, policies, regulations and methods of migration to and adoption of digital technologies for broadcasting, including to provide new services for various environments	Noted
15	Chair, SG 6	Proposed organization of the work of the Study Group 6	Noted
16	JCA-ML	Liaison statement on invitation to provide inputs to the machine learning standardization roadmap	Noted

入力文書 (6/)	提出元	題 名	結果
17	JCA-ML	Liaison statement on invitation to provide inputs to the "Glossary of terms and definitions for machine learning"	Noted
18	Co-chairs, JWP on Future of Broadcasting	Report from joint Working Parties meetings on the Future of Broadcasting held during the March 2024 block meetings	Approved
19	WP 6C	Draft new Recommendation ITU-R BT.[CARE] - A framework for content-adaptive methods for reduction of energy consumption in television displays	Postponed to the next meeting
20	WP 6C	Draft new Report ITU-R BT.[ERTIP] - Display energy reduction through image signal processing	Approved
21	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2420-5 - Collection of usage scenarios of advanced immersive sensory media systems	Approved
22	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2506-0 - Requirements for spatial characteristics of an ideal head-mounted display for immersive video	Approved
23	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1666 - User requirements for large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment	Postponed to the next meeting
24	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1662 - General reference chain and management of post-processing headroom for programme essence in large screen digital imagery applications	Postponed to the next meeting
25	WP 6C	Draft editorial amendment to Recommendation ITU-R BT.500-15 - Methodologies for the subjective assessment of the quality of television images	Approved
26	Acting Chair, WP 6C	Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Physical meeting with remote participation, 4-8 March 2024)	Noted

入力文書 (6/)	提出元	題 名	結果
27	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2386-4 - Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)	Approved
28	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2389-0 - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	Approved
29	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2467-2 - Methods for the evaluation of the quality of service of second generation DTTB systems	Approved
30	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2343-8 - Collection of field trials of UHD TV over DTTB networks	Approved
31	Acting Chair, WP 6A	Executive Report of the meeting of Working Party 6A (5-13 March 2024)	Noted
32	WP 6B	Draft new Report ITU-R BT.[CLOUD] - Use of cloud computing for programme production	Approved
33	WP 6B	Draft new Report ITU-R BT.[MLP] - Use cases of VVC multilayer profiles for broadcasting services	Approved
34	WP 6B	Draft revision of Report ITU-R BS.2388-4 - Usage Guidelines for the Audio Definition Model and Multichannel Audio Files	Approved
35	WP 6B	Draft new Recommendation ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION] - Advanced sound system: ADM and S-ADM profile for emission	Postponed to the next meeting
36	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2076-2 - Audio Definition Model	Postponed to the next meeting
37	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2094-1 - Common definitions for the Audio Definition Model	Postponed to the next meeting
38	Chair, SG 6	Proposed contribution to the Radiocommunication Advisory Group (RAG) meeting March 2024 -	Approved with amendments

入力文書 (6/)	提出元	題 名	結果
		Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation	
39	Acting Chair, WP 6B	Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Physical meeting with remote participation, 11-14 March 2024)	Noted
40	BR, Study Groups Department	List of documents issued (Documents 6/1 – 6/40)	